

年度評価シート

課名 中山間地振興課

施設の名称 藁科都市山村交流センター	指定管理者名 藁科交流センター運営委員会
1 履行状況	
<p>(1) 目標達成状況</p> <p>ア 5年後（令和9年度）の利用者数 目標値 86,000 人、実績値 66,185 人、達成率 77%（令和5年度時点） 【参考】令和元年度（コロナ前） 実績値 83,571 人</p> <p>(2) 施設利用状況</p> <p>ア 利用者数 66,185 人（前年度 63,644 人）（前年度比 104%） イ 入浴者数 10,921 人（前年度 9,898 人）（前年度比 110%）</p> <p>(3) 人員配置状況 管理責任者 1 名 職員 2 人</p> <p>(4) 業務実施状況 静岡市都市山村交流センター条例第3条に規定する各種事業について、業務仕様書及び事業計画書に従って実施されている。 主な事業と参加者数は以下のとおり。</p> <p>ア 主催講座 18 回（パソコン教室、ヨガ教室など） 136 名 イ 交流講座 12 回（親子木工教室、そば打ちなど） 121 名 ウ イベント型講座（わらびこまつり内イベント、園児向け収穫体験） 3 回 98 名</p> <p>【検証・分析等】 コロナウイルス対策が規制緩和され、人々の行動制限が大幅に緩和された。一方で、令和4年度に2か月ごと開催していた「わらびこマルシェ」が駐車場の問題などにより中止された。利用者数の減少も危惧されたが、前年度比4%の微増となった。業務実施状況も仕様書を履行しており、今年度の履行状況は適正である。</p> <p>【確認結果】 ○：協定書等の内容が適正に履行されている。</p>	
2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）	
<p>【具体的な意見・要望の内容と対応状況】 意見等：職員が長時間、携帯電話を使用していた。 対応：朝礼時に再周知し、再発防止の徹底を図った。</p> <p>【検証・分析等】 利用者からの意見・要望に対しては概ね適切な対応がとられており、良好な対応がなされている。</p> <p>【確認結果】 ○：適切に対応し、改善すべき事項は対応済み、又は改善に向けて作業中である。</p>	

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

(1) 利用者満足度調査

施設運営の参考とするため、利用者を対象にアンケート調査を実施した。

【調査結果】

回答者総数：123件、「満足」「やや満足」と回答した割合

① 施設の満足度97.6%（前年度94.5%）

② 職員の対応97.6%（前年度96.3%）

【検証・分析等】

2項目の平均値で算出した満足度は97.6%（前年度95.4%）であり、良好な評価を得ている。

【確認結果】

○：調査の結果が概ね良好である。

(2) 市民アンケート

【確認結果】

－：未実施

(3) その他の調査

【確認結果】

－：未実施

4 指定管理者の経理状況の評価

【収支状況】

指定管理業務についての収支状況については、適正に執行されている。

【検証・分析等】

前年度は光熱費の高騰により支出超過が見られたものの、今年度は指定管理料に高騰分も見込んだことから解消され、収支状況は良好である。また、会計帳簿類も整理されており、適正な経理が行われている。

【確認結果】

○：安定的な施設運営を行っており、また今後も継続できる見込みである。

5 総合的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）

前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無

【検証・分析等】

指定管理業務全般について、業務仕様書や事業計画書に従い良好に実施されている。

事業全般については、ヨガや健康体操など利用者の健康志向に訴求する講座に力を入れるとともに、例えばヨガでもマットを使用する場合や椅子を使用する場合など、内容を工夫して継続受講者の確保や新規受講者の開拓に努めている。ただし、都市山村交流センターという施設の性格上、市街地の住民が山村部に興味を持ち、理解を深めるような講座をより多く行うことが求められる。

また、5年後の目標である利用者数86,000人を達成するためには、さらに施設の利用を促す必要があり、より一層の魅力的な講座の充実やイベントの開催が欠かせない。施設自体は、入浴設備や子供向け遊具やドッグラン、カラオケ施設など非常に多彩な魅力があることから、イベントも含めて周知することでさらなる誘客に努めることが望まれる。

引き続き、地元の指定管理者としての強みを活かし、地元住民と市街地住民の交流や地元の協力を得たイベントなど、地元に着した施設運営を行い、さらなる地域振興が図られることを期待したい。

【評価結果】

○：良好な管理運営であった。

※事務事故が発生したとき及びモニタリング調査において改善に向けた協議があったときは、必ず改善状況を記載すること。